

モニタリングシート（院・心理学専攻）

No.	モニタリング項目	データ	データから見る点検結果（概要）	課題	改善へのアクション
1	前年度の向上・改善施策の実施状況（成果・課題・継続事項）はどのような状況であるか。	点検・評価課題に対する向上・改善施策	向上・改善施策を踏まえ、研究科 FD 研修をはじめとして、研究科内での問題意識の共有や関連事項の検討を進めている。引き続き学科内で課題の共有と検討を図りながら取り組みを進める。	特になし	学部改組と連動した大学院改組に関連する組織変更と指導内容の確認に関する FD を予定している。
2	定員充足の状況はどのような状況か。	定員充足率データ	適切な定員数の設定とその上での定員充足への取り組みについて今後の大学院改革の検討を含めて議論を進める。	適切な定員数の設定とその上での定員充足への取り組み。	学部改組と連動した今後の大学院改革の検討を含めて議論を進める。
3	DP・CP と関連したカリキュラムが適切に設計されているか。	履修要項等の各種データ	特になし	特になし	特になし
4	DP に沿って設定された各学位プログラムレベルにおけるカリキュラムについて、適切に実施されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 履修状況等の各種データ 大学院アンケート結果 	アンケート結果からは適切にカリキュラムが運用できている、現在の各授業の質の引き続き担保していく。	大学院修了前に公認心理師国家試験が実施されることになったため、修士論文、実習の一部スケジュールの変更について検討が必要。	2022 年度入学生からスケジュール変更とカリキュラム変更を実施した結果について検証する。
5	学修成果の到達度の把握はどのようにおこなっているか。	学修成果の把握の取り組み等 大学院アンケート結果	アンケート結果からは適切にカリキュラムが運用できている、現在の各授業の質の引き続き担保していく。 臨床心理学領域については国家試験の合格率 100%であることから学修成果はある程度評価できると考えられる。	特になし	特になし
6	各科目の成績および論文・研究が適切に評価されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 成績評価に関する取り組み等 大学院アンケート結果 	アンケート結果からは適切に評価がなされている。	特になし	特になし
7	職位構成・年齢構成のバランス、非常勤比率に留意し、かつカリキュラムに基づく教員組織となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> 所属教員の状況 科目群別非常勤比率 	2025 年度からの新学部体制に伴い新たな教員組織編成となることから、ある程度職位、年齢、性別のバランスが配慮される配置となる予定である。	資格科目について、非常勤による集中講義が多数設けられていることが課題ではあるが、カリキュラム上不可避である。	特になし

No.	モニタリング項目	データ	データから見る点検結果（概要）	課題	改善へのアクション
8	課題認識および外部環境を踏まえた独自のFD活動を実施できているか。	<ul style="list-style-type: none"> FDの取り組み状況 前年度点検シート 点検・評価課題に対する向上・改善施策 	FD研修会という形は今後開催していく予定であるが、これまでも学生動向、カリキュラム内容、他大学の動向について日々担当教員間では議論と情報共有がなされFD活動が活発になされている。	学生指導および、教員間の情報共有・議論のコミットの程度に教員内でも個人差があるため、研修会という形でのFDの実施も必要とも考えられる。	日々のFD活動の継続と研修の実施。
9	上記以外で「継続すること」「課題」「次へのアクション」「全学レベルで検討すべき事項（提案）」があれば入力。	<ul style="list-style-type: none"> 各種データ 	公認心理師養成の継続	2024年度から開始される厚生労働省・文部科学省主催「公認心理師実習演習担当教員養成講習会（34時間）」および「公認心理師実習指導者養成講習会（14時間）」の必須受講について	実習・演習担当の常勤教員，非常勤教員，外部施設指導者は，受講必須であり，受講について学内調整が必要である。